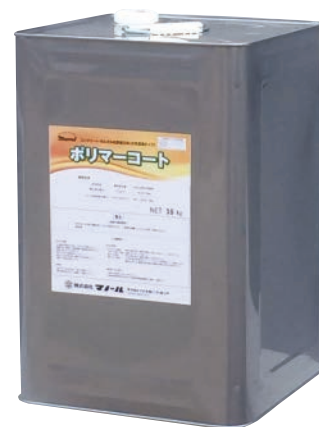


ポリマーコート

ポリマーコートはコンクリート・モルタルなどセメント系材料の施工直後や型枠脱型後に原液散布し、初期の表面乾燥や収縮を低減する水性原液タイプの養生剤です。

特長・用途

- セメント系材料の乾燥収縮・クラックの低減
- コテ仕上げ時の作業性の改善
- コンクリート型枠(二次製品等)脱型後の乾燥収縮の低減
- 原液使用の水性タイプにより使いやすく安全です
- コンクリート・モルタル等のセメント系材料の初期養生
- 暑中コンクリート・モルタルの表面仕上げ補助と膜養生



荷姿・物性

- 荷姿 18kg/缶
- 物性

成分	外観	密度
エチレン系ポリマー	乳白色液体	1.03

標準使用量

使用用途	標準塗布量	18kg/缶塗布可能面積
養生剤の場合	100g/m ²	180m ² /18kg
仕上げ補助剤の場合	100~200g/m ²	90~180m ² /18kg

施工方法

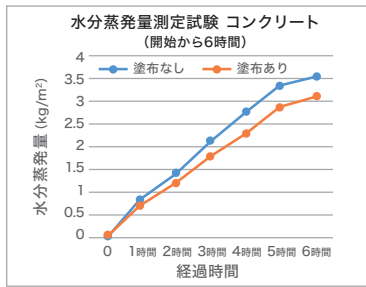
● 養生剤の場合

1. セメント系材料の硬化を確認して下さい。(表面の浮き水がなくなった事を確認してください。)
2. 噴霧器等を使用して標準使用量を守り均一に塗布してください。
3. 天候(雨・雪等)に十分注意して養生してください。

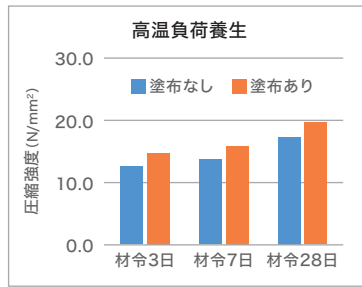
● 仕上げ補助剤の場合

1. コンクリート打設時に噴霧器やジョウロを使用して均一に塗布してください。
2. 定規ずりやトンボ等で均しながら表層に養生剤を練り込みます。
3. 通常通りにコテ押さえを行い仕上げ作業を完了させてください。

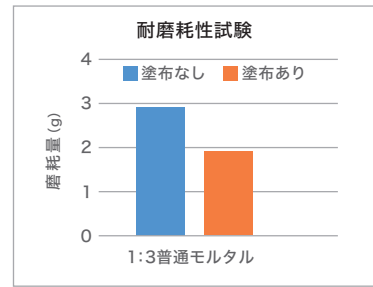
性能試験結果



水分蒸発測定試験



圧縮強度試験

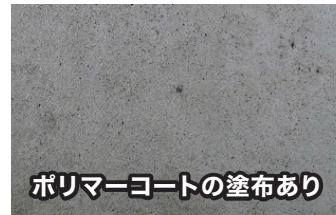


耐摩耗性試験

● 高温負荷養生の結果



ポリマーコートの塗布無し



ポリマーコートの塗布あり

施工上の注意

- よく振ってから使用してください。
- 塗布直後に被膜表面に触れると破れる恐れがありますので、触れないようにしてください。
- ポリマーコート施工後に仕上材等を施工する場合はサンディングやポリッシャー等で被膜部分の除去を十分に行ってください。（除去をしない場合は剥離の原因となります。）
- 高温時は養生マットの使用、散水養生を行うとより効果的です。
- コンクリート、モルタルの硬化後にポリマーコートを散布して仕上げないでください。
- 気温が0℃以下の場合には使用を避けてください。
- 使用後は缶を密封して保管してください。

取扱い上の注意

- 取扱い時は、必ず保護具（保護手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用し、換気の良い場所で行ってください。
- 取扱い後は、うがい、手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後は、使用した工具類を早めに水洗いしてください。
- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合は、多量の水を飲ませ、吐かせた後、医師の診断を受けてください。
- 他容器に小分けして保管しないでください。
- 湿気・直射日光を避け屋内で保管してください。
- 廃棄の際は都道府県知事許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- ご使用前にSDS（安全データシート）を熟読ください。



セメント混和・助材総合メーカー

株式会社 **マノール**

<http://www.manol.co.jp/>

本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334
福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127
盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたち2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332
大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

特約店